

学校だより

令和5年12月発行

鳥羽商船高等専門学校 広報部会

三重県鳥羽市池上町1番1号 TEL 0599-25-8000



最優秀賞

『We Love Tobamaru』

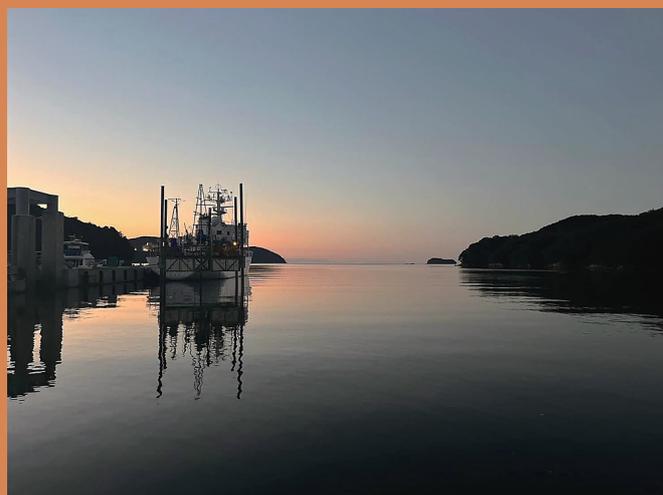
撮影者：永田 渚（商船学科航海コース5年）



優秀賞

『寒そうな鳥羽丸』

撮影者：坂倉 悠斗（商船学科航海コース3年）



優秀賞

『夕焼けに映る鳥羽丸』

撮影者：永峰 遼次郎（商船学科2年）

2023鳥羽丸写真コンテスト 受賞作品

- 校長挨拶
- 新任教職員紹介
- 学科等の紹介
- 就職・進学
- 学生の活躍

- インターンシップ
- 部・同好会紹介
- 乗船実習
- 学生寮
- 国際交流プログラム

- 学生会活動
- 教員の活躍
- 学校通信

地域と世界で活躍する、科学的思考を持つ 高度技術者の育成に向けて

校長 和泉 充

船乗りといえば「スマートで、目先がきいて、几帳面、負けじ魂、これぞ船乗り」が引用されます。このような気質をもった人は海陸を問わず社会から求められています。本校校祖で明治6大教育家のおひとり近藤真琴翁の教育理念は「進取、礼讓、質実剛健」、同じ近藤翁が創立された攻玉社（現学校法人攻玉社学園）では「誠意、礼讓、質実剛健」が校訓とされ基本理念は、脈々と継承実践されています。大規模に社会変化が進む世の中で、本校は15才から20才代までの成長期を通貫する高等教育機関「高専（KOLEG）」として学生の成長の見守りと支援に日々努めています。

変化する社会のニーズに対応して、産業界や三重県など自治体と連携し、国の産業・経済構造を踏まえ、突った2学科である**商船学科と情報機械システム工学科**は、物流を支える海運・海事と第4次産業革命（インダストリー4.0）に貢献する産業人財を育てます。国は、産業・技術基盤としてグリーン、デジタル、スタートアップ、イノベーションを掲げ、コンピューティングにかかる半導体、クラウドや工作機械・産業用ロボットなどをサプライチェーンの重点物資としています。本校の動きを添えて



あるQRコードよりご参照ください。以下はポイントです。

一、令和7年3月の就航をめざして練習船鳥羽丸の代船建造が進んでいます。令和5年9月に船体推進性能試験、11月には実物大船橋と機関制御室のモックアップ審査を完了しました。プロペラ性能試験を経て令和5年12月8日には起工式を迎えました。命名・進水式は年明けて令和6年10月初旬の予定です。システム操船及び自律操船技術を基盤とした自動運航システムを洋上のみならず陸上でも実習可能な設備を実装した我が国初の最先端の練習船「スマートシップ」として我が国経済の根幹たる海運を背負って立つ学生諸賢の期待に応えます。浮桟橋も新たな姿を現します。

二、本校は文部科学省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」に採択され、DXの海事・海洋分野への浸透と人材育成が進んでいます。

三、さらに今年度には、デジタル社会を支える高度情報人材の育成を目指した、成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援に採択されました。具体的には、令和7年度から高度情報工学コースを情報機械システム工学科に設置、U16の中学生のみならず本校に来て、学んで、育ってほしいと思っています。既存の学科課程を総合工学コースに糾合し、情報機械システム工学科は2コースとなる計画です。サイバーセキュリティ、データサイエンス、

生成系AI処理などを取り上げ、社会実装教育の高度化、海事・海洋、物流とDXが融合したカリキュラムを実践しま

す。

四、国立高専の強みを生かした起業家や専門家による伴走支援など、スタートアップ創出に向けた支援の構築を令和5年度から開始、文部科学省補助事業により、クラウド対応3次元CADシステムや牡蠣殻再利用プラントなどIoTとバイオテックの融合など、キャンパス全域を起業家工房・スタートアップキャンパスと位置づけて整備を進めます。

五、海や船、ロボットなどを題材にしながら小中学生向けのSTEM教育を展開し、女子中学生の理系進路選択を促進する一方、ハワイやシンガポールに加えてニュージーランドへの学生の海外派遣を積極的計画、また、留学生を多く受け入れることで国際化を一層推進、多文化交流生活寮（学生宿舎の新営）の早期実現を計画しています。

六、国立高専に対するご理解を深めていただき、高専という教育制度の広報強化、歴史ある本校の創設150周年・高専創設60周年基金や寄附金、競争的研究経費等の外部資金の獲得、同窓会組織等との連携による高専教育の高度化を推進しているところです。

鳥羽商船高専は令和5年9月の商船学科・専攻科卒業修了生をもって7959名を数えます。来年3月には、8000名を超えることとなります。11月5日には、高専制度創設60周年を記念した「高専の森」イベントとして鳥羽のヤマトタチバナ（大和橘）の植樹式を挙行了しました。海運業界とも練習船船員の交流や災害時の協力など

の項目を含めて包括連携を締結するなど、東海地区にあって5つの商船高専の中で太平洋に直結して名古屋・四日市港を擁する輻輳海域伊勢湾岸に位置する商船系高専として全学一致して修学環境整備に努めています。歴史と文化が育んだ国立公園にある高等専門学校として「マリノリゾート・コアキャンパスの創成」を掲げており、教職員一同、地域と世界で活躍する科学的思考を持つ高度の海と陸のエンジニアを育てます。2025年（令和7年）の創設150周年と高度情報工学コースの学生受け入れ、練習船鳥羽丸代船就航、浮桟橋の更新完成に向けて各界各位の皆様のご期待とご支援をどうか宜しくお願い申し上げます。

本校の動き



校報 2023年10月



同窓会報 2023年10月



※人事
令和5年4月1日から
副校長と校長補佐を以下としました。

- 副校長（総務・教務担当） 教務主事 江崎教授
- 副校長（学生支援・厚生補導担当） 学生主事 坂牧教授
- 副校長（寮務・国際担当） 寮務主事 橋爪教授
- 校長補佐（研究・産学・地域連携担当） 研究主事 宮崎教授
- 校長補佐（将来計画担当） 専攻科長 窪田教授
- 校長補佐（サイバーセキュリティ担当） 情報メディア教育センター長 白石教授
- 校長補佐（ダイバーシティ担当） ダイバーシティ推進室長 豊田教授

新任教職員紹介



事務部長
喜井 健二

4月1日付で事務部長に就任しました喜井です。

私立高専卒の私には国立高専はハイレベルな存在でしたが、礼儀正しい学生さん達、学生に親身な先生方など、高専に共通する姿を懐かしく感じています。

私の仕事のモットーは「仕事」人を喜ばせることです。また、組織マネジメントでは「心理的安全性」を重視しています。

読書が趣味で、最近では「三体（劉慈欣著）」を読み、異星人の侵略に主人公が社会学で迎え撃つ物語に嵌りました。



商船学科 准教授
山口 康太

「ただいま戻りました！」そう思いながら本校に教員として着任しました商船学科の山口康太です。出身は三重県尾鷲市で、本校の商船学科40期生として勉学に励み、卒業後は東京海洋大学に編入し学位を取得しました。本校に着任する前は大島商船高等専門学校で教員として経験を積み、満を持して本校に戻ってまいりました。鳥羽商船在学中は勉学をもちろんのこと寮生会、学生会、衛星設計コンテスト、部活など多くのことを経験してきました。先輩として、教員として、学生の皆様にとっても多くのことを教えることができたいと思っております。なお、私の目標は学生である当時から「大学生に負けない高専生」です。



商船学科 助教
谷水 聖奈

4月より商船学科の助教に着任いたしました谷水聖奈と申します。

私は三重県四日市市出身で、2015年に本校商船学科航海コースを卒業し、2017年に本校専攻科海事システム学専攻を修了いたしました。学生時代は通学生でしたので、自宅の最寄り駅から片道約1時間半の距離を、近鉄電車に揺られながら通学してまいりました。現在は伊勢市に住んでおり、車で片道約20分の通勤ライフを楽しんでいます。

母校である本校で教員をすることができて、とてもうれしく思っています。私は前職にて、練習船日本丸、銀丸の航海士を3年半、陸上勤務として岩手県宮古海上技術短期大学の教員を2年しておりました。これらの経験を活かして、授業や実習をしていきたいと考えています。

今後本校の卒業生として、「攻玉」の精神を胸に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



教務係長
谷口 周資

令和5年4月1日付で学生課教務係に赴任しました谷口と申します。3月までは三重大学で勤務しており、人事労務業務や研究推進業務を行ってまいりました。学生と直接かかわりのある教務系の業務は初めてで、高専ならではのイベントがたくさんあり、新鮮で刺激

のある経験をさせていただいております。微力ではございますが、少しでも学生の皆さんの支えになりますよう努力していきたいと考えておりますので何卒、よろしくお願いたします。



財務・経理係主任
中澤 利之

令和5年4月1日付で総務課財務・経理係に赴任しました中澤と申します。

3月までは、三重大学で10年ほど勤務してまいりました。桑名市出身で、高校は四日市、大学は津で、現在は、松阪に住んでおり、徐々に三重県内を南下してまいります。

鳥羽商船では、仕事はもちろんですが、なまりきった体に喝を入れるべく、積極的な運動も行っていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



人事労務係員
谷 慎悟

今年度の4月1日付で、総務課の人事労務係で採用をいただきました谷慎悟と申します。

出身は三重県津市で、小中高大と津市の学校に通っており、現在は津市から鳥羽まで電車通勤しております。高専は高校とも大学とも異なっており、加えて商船学校でもあるため働くうえで興味深く感じています。

人事労務係は学生と関わることは少ないですが、教職員と関わる機会が多いため、色々とご教授い

ただきつつ、本校に微力ながらお力添えできたらよいと考えております。これからどうぞよろしくお願いたします。



調達係員
小林 文香

今年度4月1日付で総務課調達係に赴任いたしました小林と申します。

3月までは三重大学で勤務しており、附属病院で臨床研究契約業務や利益相反管理業務を行ってまいりました。調達業務は初めてですが、業務を通して教職員や学生の皆様とかかわる機会をいただき、日々あなたがたの雰囲気や人柄を感じながら取り組ませていただいております。

一助になれるよう精一杯努めてまいりますので、ご指導のほど宜しくお願いいたします。



教務係員
三反崎 柰太

今年度4月1日付で学生課・教務係に採用された三反崎柰太と申します。

神話の里宮崎出身で、昨年度広島大学を卒業し、この度ご縁がありまして三重県で就職しました。

学生時代は、大学からお金を頂き廃材でモデルロケットを作成したり、川へ砂や水を取りに行ったり、海面処分場に焼却灰を取りに行っていました。

教員や学生の皆様とは、教科書や証明書発行、出席関係に係ることがあるかと思っております。微力ながら、鳥羽商船高専の為

に尽力していきたいと考えておりますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。



学生生活係員
廣岡 知佐

学生生活係に配属になりました廣岡と申します。

私の趣味は、寺社巡りです。コロナ禍の影響で近年は、活動を自粛していましたが、久しぶりに御朱印集めを再開したいと思っております。

規制緩和に伴い、様々な活動が本格化しています。学生さんたちが心弾む学生生活を過ごせるよう、微力ですが精一杯お手伝いさせていただきますたく存じます。どうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



テクノセンター 技術職員
中北 創太

本年4月にテクノセンター技術職員に着任いたしました、中北創太と申します。私は平成28年に本校の制御情報工学科に入学し、令和3年3月に同じく本校専攻科生産システム工学専攻を修了いたしました。今春に着任して約半年、未熟さを痛感する日々ではございますが、これまで7年もの間お世話になりました母校に勤められまことを大変光栄に感じております。本校OBとして、学生にとつて頼れる存在となれるよう尽力いたします。今後とも何卒よろしくお願申し上げます。

商船学科の紹介

商船学科長 窪田 祥朗

商船学科の特長は、船舶職員を養成する点にあります。本校は、三級海技士の第一種養成施設として、航海士、機関士を養成します。特に、三級海技士（機関）の第一種養成施設は、東京海洋大学、神戸大学、海技大学校、海上保安大学校、水産大学校と本校を含む5高専だけです。つまり、皆さんは、国内では限られた士官養成学校に入学したということですから、日々精進してください。船舶職員を養成するためには、海事関連産業と海事教育機関の連携が不可欠で、産業界において求められる人材像を把握しながら、知識、資質、スキルを学生に教授していく必要があります。そのため、商船学科は、海事関連団体および、他の商船系高専と協働で海洋人材の育成に関するプロジェクトを推進しています。このプロジェクトでは、グローバル力向上、技術革新に対応した教材開発、キャリア教育の実施、海事関連産業と海事教育界との連携強化を基軸に事業を展開しています。グローバル力向上については本校が担当で、2号館2階のグローバル教育拠点にて商船系高専5校を繋いだオンライン英語講座を開講しています。オンライン英語講座については、個人のパソコンからも受講可能です。また、毎週火曜日と木曜日の昼休み（12時30分～12時45分）は、グローバル教育拠点でハワイKCCの先生による英語セッションを実施していますので、気軽に英会話を楽しんでください。詳しくは、メールやTeamsで案内していますので、確認してみてください。

また、本校練習船鳥羽丸は令和6年6月までの運航となりました。残り1年を切っています。大いに利用し、思い出を作ってもらえればと思っています。令和7年3月には、新しい鳥羽丸が竣工し、同時に、ポンツーンも新しくなります。新しい鳥羽丸とポンツーンは、本校利用のみならず、地域利用として災害支援機能も有しています。是非、研究、地域連携などで活用してもらえればと思っています。



情報機械システム工学科の紹介

情報機械システム工学科長 北原 司

情報機械システム工学科は定員80名（2クラス）の学生を受け入れ、情報工学・電気電子工学・機械工学の3分野について学ぶ学科です。2019年の改組から5年目となり、学科として5年生までが出そろい完成年度となりました。

本学科の特徴の1つは、独自のカリキュラムです。入学直後からスタートアップとしてプログラミング、工学リテラシーなどをはじめとする技術者としての基礎を学習し、3年生までに情報・電気電子・機械の3分野の基礎を学びます。4、5年生では、自らの個性や特性に合わせて専門性や志向性を決めてユニットを選ぶオーダーメイド型カリキュラムが提供されています。工学基礎を一通り学んだ上で、自分が「どの分野を専門とするのか」「どんな職種を目指すのか」という目的を明確にして学んで行くことができます。もちろん、電気電子・機械分野を専門としても情報（プログラミング）の活用ができる能力も身につけます。これまで以上に複雑となる社会において情報分野の力は他分野でも必須となります。

2つ目は、PBL (Project Based Learning) 教育です。1～5年生まですべての学年を縦断し、かつ分野を横断したチームを各教員のもとに構成して地域の課題解決や学外コンテストなどのプロジェクトに取り組みます。プロジェクトは農業、水産、観光など地域の活性化につながる取り組み、企業の困りごとを解決するシステム開発など多岐にわたります。机上の学習にとどまらずに、地域産業や文化を理解し、自らが問題を発見して工学的なアプローチで解決方法を提案できる実践力を身につけます。

情報機械システム工学科では上記のような教育活動を通じて、社会で活躍できる人材を育てていきたいと考えています。2024年3月には、いよいよ情報機械システム工学科の卒業生が社会へ飛び立ちます。



一般教育科の紹介

一般教育科長 中平 希

創造力ある技術者であるためには、幅広い教養と豊かな人間性を備えていることが必要です。そのために高等専門学校では、専門的知識の土台となる基礎学力を身につけるとともに、人文科学・社会科学・自然科学系科目や外国語、保健体育、芸術なども学び、5年間で高等学校から大学の教養課程のレベルの知識を身につけていきます。これらの科目を担う教員が所属するのが一般教育科です。総勢14名が皆さんの充実した学校生活をサポートします。

さて、学力・教養も重要ですが、何かを学ぶためにはまず自分の興味関心の幅を広げ、知らない世界に対する好奇心を持つ必要があります。本校では5年間のそれぞれのステージで自分たちの将来を考えるキャリア教育が設置されていますが、1・2年生を対象とする科目が「一般基礎教育」です。この授業では、入学当初の高専での勉強の仕方や図書館の使い方、学生相談室の紹介などのオリエンテーションから始まり、多彩な外部講師による講演を開催しています。今年度は、外務省外交官を講師にお迎えして「外交という仕事について」、鳥羽市防災危機管理室による「鳥羽商船高等専門学校で想定される災害について」、三重県弁護士会による「日本国憲法における人権と弁護士の仕事について」、思春期保健相談士による「HAPPYに生きるために〜いま知っておきたい性の話〜」、KDDI講師による「スマートフォン安全教室」、百五銀行講師による「ライフプランとライフイベント」、日本証券業協会講師による「社会に出る前に知っておきたいマネーの基礎知識」、歯科医師による「高校生に知ってほしい歯科保健」、鳥羽市子育て支援室による「デートDV防止啓発講座」、一般教育科教員による「国語辞典の面白さ」、「ブラックバイトに気をつけろ!」などを企画しています。自分たちの身の回りの防災や生活から、健康、お金、外交など、世界にまで関心の幅を広げ、新しい可能性に目を向けてほしいと願っています。



専攻科の紹介

専攻科長 窪田 祥朗

専攻科は、高等専門学校を卒業した学生が、より高度な技術者として大成するために設置されています。高専本科を卒業後、さらに2年間の教育を経ることとで大学の学部卒業生と同じ学士の学位が取得できます。本校専攻科は、海事システム専攻、および、生産システム工学専攻の2専攻から構成され、大学評価・学位授与機構の定めた条件を満たせば、それぞれ学士（商船学）、学士（工学）が得られます。

専攻科の特長は、大学3年生相当にもかかわらず大学院のように研究ができることです。専攻科の生活は、授業ももちろん大事ですが、特別研究がメインとなり、研究に打ち込む時間が大半を占めるといえます。興味のあるテーマを追究し、成果を出すことに魅力を感じることができる学生は、専攻科も進路の一つに加えてみてはいかがでしょうか。

研究成果は、学内に留まらず、学会発表など外部で披露することになります。学外の研究者からも刺激を受けることができ、学校の研究だけでは気づかなかったことや各研究者の多角的な視点から新しい知見が得られるかもしれません。

今後の進路に迷っている学生は、専攻科も視野に入れてみてはいかがでしょうか。令和7年度から、本校の強みである海事と情報を統合し、専攻科は創成システム学専攻の1専攻になる予定です。学位に関しては、今まで通り専門に応じて学士（商船学）、または、学士（工学）が得られます。それぞれの学問について理解を深め、何事にも総合的、俯瞰的に捉え、知識の融合、複合的技術を備えた技術者を目指してみませんか。



商船学科 航海コースの 就職・進学状況について

商船学科副学科長 航海コース主任

鎌田 功一

令和5年9月の商船学科航海コースの卒業生は14名です。このうち就職が10名、進学が4名となりました。就職は海上就職が8名、陸上就職が2名となります。海上就職の内訳は上野トランステック、第一中央内航、東京汽船、共栄マリン、昭陽汽船、辰巳汽船、旭タンカー、協同海運に各1名が採用されています。陸上就職は国土交通省船舶関係技術職員（船舶検査官）、神戸海事検定協会に各1名が採用されています。進学は本校専攻科海事システム学専攻に4名が進学となります。

ここ数年の傾向として、海上就職が多数を占めており、陸上就職も在学中に修得した専門知識を活かすことのできる海事関係の就職先に就いております。基礎的な専門科目の授業や実習は1年生より始まります。在学生のみなさんは今学んでいることを自身の就職後のスキルアップと考えて取り組んでみてはどうでしょうか。また、就職活動では、海技試験の筆記合格や無線の資格が求められる場合があります。本格的な就職活動は4年次の大型練習船の下船後となりますが、4年次の夏休みにはインターンシップ、後期に長期大型練習船実習がありますので、資格取得のための計画的な取り組みが必要となります。

商船学科 機関コースの 進路状況について

商船学科副学科長 機関コース主任

渡辺 幸夫

商船学科機関コース5年生の今年度の進路は14名中10名が海上職、1名が陸上職、3名が進学（海系大学編入、本校専攻科）となっています。私は今年から機関コース学生の就職活動サポートをはじめましたが、例年よりも企業の動きが大変早いのが特徴です（早期からの採用試験の実施など）。しかし商船学科に限れば、4年時の大型練習船実習の下船が2月10日以降の為、就職活動の開始がこれよりも早まる事はありませんので、ここに向けて種々準備をしましょう。その他の特徴としては、コロナ禍から引続きオンラインとオフラインの併用があげられます。例えば一次面接はオンライン、二次面接はオフラインとなっているなどです。準備することは沢山ありますが、参考資料はできるだけ揃えます。とはいえ、最も大切なことは、自分のことを良く知り、希望を定めることです。学生諸君には悔いのないように就職活動に取り組んでもらえたらと考えています。いつでも相談してください。



情報機械システム工学科の 就職・進学状況について

情報機械システム工学科長

北原 司

今年度、情報機械システム工学科は改組から5年目となり、学科として初めての5年生が就職・進学活動に臨みました。現在5年生は80名の学生が在籍しており、そのうち22名が進学希望、58名が就職希望となっています。10月末現在で、進学は3名の受験結果待ちを除き、大学進学14名（豊橋技術科学大学8名、長岡技術科学大学3名、千葉大学2名、高根大学1名）と本校専攻科5名が決定しました。就職では、全員が企業から内定をいただいています。就職先を大まかに分類すると、情報・通信分野が約4割、電気電子・機械分野が6割、地域で見ると県内3割弱、県外6割強となっています。就職先の分野は多岐わたり、昨年度までの電子機械工学科・制御情報工学科での就職先と大きく変わっていませんが、全体で見ると情報通信分野がやや増えました。現在、高専の就職は売り手市場にあります。特に情報系の学生は、その分野以外の企業からも欲しい人材となっています。しかし、誰もが順調に内定を得ているわけではありません。進学と就職のいずれにしても、目的意識が明確でしつかりと準備をして臨んだ学生がスムーズに進路が決定しています。今後活動を行う4年生以下の学生は、早い段階で将来の目標を定め、それを実現させるには今何をすべきかを考えて日々の学校生活を送ることが大切です。

海事システム学専攻コースの就職・進学及びインターンシップ状況について

海事システム学
専攻主任 山田 智貴

海事システム学専攻課程は10月に入学し、翌年の9月までを1年とし、2年間の学修を経て修了します。

専攻科の就職活動は概ね1年時の春までに終えて5月頃には収束しているのが例年の状況で、希望通りの就職先に恵まれています。学生は3級以上の海技士免状を取得していますので、やはり乗船業務か船舶関連の企業への指向が強いようです。

今年の9月に修了した学生は4名で、それぞれ海事教育関連機関に2名、内航船社、船舶機械メーカーに各1名が就職しました。

来年9月に終了予定の3名の学生も既にエネルギー資源の輸人を担う外航船社、海洋開発関連会社、船舶機関メーカーへの就職が内定をいただいています。

残念ながら就職活動のタイミングが他の大学等と異なるせいも、海事システム学専攻学生が企業のインターンシップへ参加する事例は今のところありませんが、知見を増やすことができると良い機会ですので、引き続き積極的な参加を呼びかけていきたいと考えています。

生産システム工学専攻の進路及びインターンシップ実施状況について

生産システム工学
専攻主任 出江 幸重

生産システム工学専攻の進路状況及びインターンシップ実施状況について報告します。

今年度、生産システム工学専攻2年生は9名、1年生は10名です。2年生は、全員が就職希望であり、既に全員が情報・機械・電気電子の各分野の企業に内定しています。そのほとんどが県外です。1年生は、10名のうち5名が夏休み中にインターンシップに参加しました。評定書と報告書の提出、発表を行うことで「特別実習」として単位を認められます。

令和5年3月及び令和5年9月卒業生進路先一覧（順不同） 令和5年10月13日現在

商船学科

- 就職先 上野トランステック(株)、神戸海事検定協会(株)、第一中央内航(株)、共栄マリン(株)、国土交通省、東京汽船(株)、昭陽汽船(株)、辰巳商会(株)、旭タンカー(株)、協同海運(株)、福寿船舶(株)、琵琶湖汽船(株)、オーシャントランス(株)、商船三井フェリー(株)、(株)フェリーさんふらわあ、NX海運(株)、新日本海フェリー(株)、ダイキン工業(株)
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、東京海洋大学、海上保安学校、神戸大学

電子機械工学科

- 就職先 三菱ケミカルエンジニアリング(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、東京ガスネットワーク(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、日信電子サービス(株)、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング(株)、(株)FIXER、パナソニックインダストリー(株)、三菱電機プラントエンジニアリング(株)、(株)半導体エネルギー研究所、(株)水谷精機工作所、三重ダイハツ販売(株)、浜松ホトニクス(株)、東海旅客鉄道(株)、ダイキンエアテクノ(株)、愛知機械工業(株)、奥地建産(株)、旭ダイヤモンド工業(株)、関西保温工業(株)、東京電力ホールディングス(株)、関西電力(株)、東京地下水道サービス(株)、(有)西口神具店、村田機械(株)、フライザ(株)、美和ロック(株)、吉川機械販売、中部電力(株)、NECネットエスアイ(株)、(株)タクマ、(株)日立ビルシステム、三菱電機ビルソリューションズ(株)、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、三菱電機エンジニアリング(株)
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、豊橋技術科学大学

制御情報工学科

- 就職先 (株)前川製作所、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング(株)、(株)FIXER、パナソニックインダストリー(株)、村田機械(株)、NECネットエスアイ(株)、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、出光興産(株)、エース設計産業(株)、日本原子力発電(株)、NTTコムエンジニアリング(株)、中部電力パワーグリッド(株)、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー、富士電機(株)、KDDIエンジニアリング(株)、(株)トヨタシステムズ、西日本電信電話(株) (NTT西日本)、ソフトバンク(株)、シンフォニアテクノロジー(株)、(株)メンバーズ、日東電工(株)、キウカワエントープライズ(株)、パナソニック(株)エレクトリックワークス社、(株)NTTファシリティーズ、メタウォーター(株)、(株)UL Japan、(株)アルプス技術研、(株)村田製作所
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学

令和5年3月及び令和5年9月修了生進路先一覧（順不同） 令和5年10月13日現在

海事システム学専攻

- 就職先 独立行政法人海技教育機構(JMETs)、ダイキンMRエンジニアリング(株)、ENEOSオーシャン(株)

生産システム工学専攻

- 就職先 シンフォニアテクノロジー(株)、(株)イシダ、サントリー(株)、鳥羽商船高等専門学校(職員)、パナソニック(株)、トーテックアメニティ(株)

インターンシップ先 企業一覧（順不同） 令和5年10月13日現在

商船学科

ENEOSオーシャン(株)、サンエイ・マリン(株)、旭洋海運(株)、(株)商船三井、川崎汽船(株)、東幸海運(株)、日本郵船(株)、飯野海運(株)、琵琶湖汽船(株)、福寿船舶(株)、長岡技術科学大学

専攻科（生産システム工学専攻）

旭化成(株)、J-POWERテレコミュニケーションサービス(株)、ザイマックスグループ、(株)ZTV、サントリーグループ、西日本電信電話(株)、日東電工(株)、(株)FIXER、(株)トヨタシステムズ、富士通(株)、富士通グループ、鷹工業(株)

情報機械システム工学科

東芝ITサービス(株)、三菱電機ビルソリューションズ(株)、出光興産(株) 愛知事業所、Daigasグループ、NECネットエスアイ(株)、旭化成(株)、(株)メンバーズ、(株)イシダ、パナソニック(株)、ソフトバンク(株)、(株)ハイマックス、ムラテックCCS(株)、花王ロジスティクス(株)、花王(株)、CTCテクノロジー(株)、e.TEAM ANA、ダイキンエアテクノ(株)、美和ロック(株)玉城工場、(株)LIXIL、(株)村田製作所八日市事業所、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、リニューアブル・ジャパン(株)、日本放送協会名古屋放送局、ヤンマーエネルギーシステム(株)、(株)jig.jp、(株)百五銀行、西日本電信電話(株)、日東電工(株)、ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン(株)、日信電子サービス(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)JALエンジニアリング、ダイキン工業(株)、関西電力グループ、(株)デンソー、キヤノンマーケティングジャパン(株)、パナソニックインダストリー(株)、(株)MBM、富士電機(株)、コニカミノルタジャパン(株)、(株)ニコン、第一工業製薬(株)、イオンディライト(株)、ニプロファーマ(株)、(株)FIXER、三菱重工業(株)、オムロンフィールドエンジニアリング(株)、エムオーテック(株)、京セラ(株)、NTTコムエンジニアリング(株)、(株)アウトソーシングテクノロジー、ダイキンMRエンジニアリング(株)、パーソルクロステクノロジー(株)、アライドテレシスホールディングス(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、(株)ジェイ・クリエイション、(株)三井E&S、NECフィールドエンジニアリング(株)、(株)シマノ、KDDIエンジニアリング(株)、(株)SCREEN SPEサービス、(株)クラックスシステム、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学

学生の活躍

観光甲子園 空飛ぶクルマ部門 グランプリ受賞

情報機械システム工学科4年

多米 希花

私たちは、コンテストの課題である「空飛ぶクルマ実用化にむけて観光分野における事業アイデアを企画」に合致した案を考えるだけでなく、自分たちの地域の様々な課題を解決できるよう考えました。また、自分たちの案が地域にもたらずメリットを限られた発表資料の中でどう伝えるかという部分をチームメンバーで話し合い考えました。

印象に残っていることは、結果発表の瞬間です。自分たちのチーム名が発表されたとき、ほかのチームの発表もとてもいいものだったため選んでいただいたことに驚きました。また、今までの努力が結果となって実り、達成感を感じました。



第1回高専 GIRLS SDGs × Technology Contest に参加して

情報機械システム工学科4年

奥村 茉奈

私たちは、「GCON2022」において、持続的な海女漁の実現のために作品について発表し、六十周年記念賞を受賞しました。

「GCON」とは、SDGsを中心としたさまざまな社会課題の解決に向けた技術開発・アイデアの提案を発表するコンテストです。

このシステムは、スマートウォッチを用いて海女漁における単位努力量あたりの漁獲量(CPU E)を自動的に可視化する仕組みの構築に取り組みました。GPS、角度センサ、角速度センサを用いて機械学習による分析を行なうことで実現しています。これにより安定的な漁獲を実現するために、保護すべき海域を明確にし、藻場の再生など海の資源を守ることで、持続的な海女漁を実現しています。

今回は海女さんの課題を解決するシステムを考えましたが、他の水産業の課題についても取り組んでいきたいとともに、SDGsに貢献できるようなシステムを開発したいです。



「DICON2023」で 経済産業大臣賞と企業賞受賞

情報機械システム工学科3年

白川 琥大

私たちは4月28・29日に開催された「DICON2023」でスマホを使って誰でも手軽にプラスチックを判別することが出来る「りぷら」を発表しました。技術審査とビジネスプラン発表審査により、起業評価額3億で第2位、経済産業大臣賞及び複数の企業賞を受賞しました。

この作品を制作するために、まずプラスチックリサイクルの現状を知ることが重要で、地元の企業などの見学やヒヤリングを行いました。ホテルで排出されるゴミを確認し、広域ゴミ処理施設や産廃処理事業者の見学、三重県の担当部局等と打ち合わせを行いました。また、メンターとなった起業家のアドバイスを得ながらビジネスについて学び、学校での勉強とは異なる分野に戸惑いながら、日々試行錯誤を重ねました。

これからも地元・社会の問題に目を向け、自分たちの技術を磨いて、課題解決に取り組んでいきたいと思えます。



DICON2023にて 文部科学大臣賞と第8位受賞

専攻科生産システム工学専攻1年

萩田 翔騎

令和5年4月末に開催された「第4回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2023」にて、AIを活用したウンシュウミカン栽培支援システム「選果せんか?」を提案し、文部科学大臣賞を受賞しました。

同コンテストでは、技術審査とプレゼンの内容を踏まえて、チームを会社とみなして評価し、その価値を企業評価額という形で算出します。私たちは今回、企業評価額1億2000万円と評価していただきました。また、技術審査において私たちのチームは1位の評価をいただき、最も優れた技術力を持つチームに贈られる文部科学大臣賞を頂くことが出来ました。

私たちが提案したシステムの社会的意義や事業としての成長性がどうすれば5分間のプレゼンで伝わるのか、チームメンバーやメンターの方と何度もミーティングを繰り返し、深く考えました。大変な経験ではありましたが、東京での最終審査会には非常に楽しいものでした。最後になりましたが、私がある場に立つまで支援して下さった、チームメンバーと全ての関係者の方々に深く感謝申し上げます。



漕艇大会で優勝

商船学科機関コース3年

中井 一哲

この度、第58回全国商船高等専門学校漕艇大会で去年に引き続き優勝することができました。これまでお世話になった教官方や、応援してくださいました方々に心より感謝申し上げます。2連覇という偉業を成し遂げられたことをとても誇りに思います。そして、何よりこのメンバーで優勝出来たことがとても嬉しかったです。

今年度のメンバーは、互いに意見を出し、尊重しあい、とてもいい雰囲気練習を進めることができました。練習がどんなに辛くて厳しくてもメンバーのおかげで乗り越えることができ、充実した練習の日々を送ることができました。大会前は、緊張している人や不安になっている人などにメンバーが声を掛けあい、気持ちを高め合うことができました。大会では、鳥羽の練習海域とは違い潮流の厳しい条件での戦いとなりましたが、最後まで必死に漕ぎきって優勝することができました。一生の思い出に残る部活動となりまし



第26回全国高等学校少林寺拳法選抜大会に参加して

商船学科2年

今井 加恋

令和5年3月25日と26日に香川県で行われた全国高校選抜大会に出場し、規定単独演武に初めて挑みました。本大会が長期休暇を挟んで行われたため、週に一回、大阪の自宅から学校の道場に通って練習しました。土日は学校で練習し、平日は地元の高専にある少林寺拳法部に出稽古に行かせてもらいました。1人で練習するのは初めてだったので集中することが難しかったです。教官や先輩方にアドバイスをもらったことをすぐ理解して吸収することを意識しながら練習しました。大会当日は会場で待機している時が一番緊張しました。本番では満足のいく演武ができず悔しい思いをしましたが、先輩方に褒めてもらえて、もっと頑張つて練習して強くなりた

いとあらためて思いました。教官や先輩方のおかげで本選に残ることができたので、次の大会では入賞できるようにこれから一生懸命練習を頑張ります。



第58回全国高等専門学校体育大会水泳競技大会の振り返りと今

商船学科2年

野中 亜耶

今年も昨年に引き続き、全国高等専門学校水泳競技大会に出場することができました。今年は昨年から1つ順位を上げ、6位入賞することができました。応援してくださいましたみなさん、本当にありがとうございました。

日々の練習は常に自分との戦いで、思うようにタイムが伸びず、今年も全に行けないのではないかと、行けなかったらどうしよう、もう泳ぎたくない、辞めたいと何度も何度も心が折れそうになりました。そんな時にいつも支えてくれたのは水泳部の仲間でした。辛いメニューと一緒にやってくれたり、部活が終わった後、みんなで夕食に行く楽しみを作ってくれたりとも何度も励まされ、助けられました。

水泳部は来年で最後の活動となります。そして水泳部の活動が終わると同時に私の14年に渡る競泳人生に幕を閉じたいと思います。楽しいよりも遥かに苦しい思いをしてきた14年でした。最後の1年、笑顔で終れるように全力で頑張ります。



第61回東海地区国立高等専門学校体育大会剣道競技男子個人の部 優勝

情報機械システム工学科3年

小島 優志

3年生から鳥羽武道館の先生方の指導をいただいております。私は松阪支部所属でしたので、支部の違う私を快く練習に参加させてくださいました先生方には感謝しております。そこで上段を教えていただき、そのおかげで東海地区予選男子個人戦の部を、優勝という形で勝ち抜くことができました。東海地区予選が終わってからは団体、個人で全国大会に出場する鈴鹿高専をはじめ、他の高校の練習や、道場の練習に参加させていただき、さらに実力をつけることが出来ました。ただ、全国高専大会では1回戦は勝ち進んだものの、2回戦で敗退してしまいました。この結果は私には、とても悔しいものでしたが、来年の全国大会にいかせる良い経験ができました。これから通してでき



左から先輩、私、OG、顧問

船上カメラマングランプリ 2022年内航海運新聞賞を 受賞して

情報機械システム工学科
3年 大津 響

今回、このような結果をいただいで光栄に思っております。受賞した当時は写真部に入学して間もない頃であり、自分の技術に自信が持てませんでした。しかし、この受賞をきっかけに自分の写真に対して自信を持つことができるようになり、鳥羽ショッピングモールハローでの写真展開催といったあらたな挑戦につながったと思います。

現在では写真部部长として後輩たちの指導にも当たっています。受賞した写真は鳥羽丸のエンジンを写したものです。船のエンジンが持つ、雄大さや貫禄をイメージして撮影しました。この写真をきっかけに様々な人々に船について興味を持ってもらえればと思います。できれば、船に乗る人々にも写真撮影に興味を持っていただければ嬉しいですね。



ロボコンに参加して

情報機械システム工学科
2年 渡辺 敦也

高専ロボコンに携わって2年目になります。今年はAチームでチームリーダーを務めました。

今年のテーマは「もぎもぎ！フルーツGOラウンド」でした。障害物のあるフィールドで高い位置になっているフルーツを各チームのロボットが収穫し、獲得した得点を競い合います。

私たちAチームは観覧車のような形状をした「大車輪」を使い、障害物の角材とロープを乗り越えるロボットを制作しました。

その努力が実り、地区大会ではデザイン賞と全国大会への推薦をいただきました。

私たちのロボットのアイデアを「何度倒れても立ち上がるロボコンストの魂」と審査員の方から大変良い評価をいただきました。

全国大会では残念ながら一回戦敗退となりましたが、とても重要な良い経験だったと感じています。

全国大会まで行くことができただけで満足な自分も、まだまだ先、後輩のおかげだと思っています。

私を支えてくれた全員に感謝したいです。

私を支えてくれた全員に感謝したいです。



第34回高専ロボコン 「自由部門」優秀賞受賞

情報機械システム工学科
3年 松葉 勇希

私たちは、第34回全国高等専門学校プログラミングコンテスト自由部門において、優秀賞を受賞しました。

今年発表された「ぼどろー」は、安心安全なカヤック航行を支援するシステムです。海難事故を起こさないための安全面の課題と、簡単に記録を残すための楽しみの問題を解決するため、4月から約半年をかけて、プログラム開発はもちろん、カヤックを用いた検証などを繰り返してきました。

システム開発をするにあたり技術的なことはもちろん、カヤックの操船、協力者との交渉など、新しいことが多く大変な日々でしたが、たくさんの方々の協力のおかげで無事完成させることができました。

本選では、多くの高専や企業の方と交流し、新しいアイデアや技術、考え方を触れ合えました。最優秀賞を取れなかったことは悔しいですが、初めて本格的な開発を行い、努力が優秀賞という結果につながったことが今後の自信となりました。

最後に、本プロジェクトにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

最後に、本プロジェクトにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

最後に、本プロジェクトにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

最後に、本プロジェクトにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

最後に、本プロジェクトにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

最後に、本プロジェクトにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



コンテスト実績一覧

観光甲子園 2022

結果	備考
グランプリ	空飛ぶクルマ部門 (令和5年2月5日開催)

第4回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2023 (DCON2023) (令和5年4月28日-29日開催)

結果	備考
本選結果 2位 経済産業大臣賞 トヨタ自動車賞	企業評価額...3億円 チーム名: ezaki-lab
本選結果 8位 文部科学大臣賞	企業評価額...1億2,000万円 チーム名: Shiraiishi-Lab

第34回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (令和5年10月14日-15日開催)

結果	備考
優秀賞	課題部門
優秀賞	自由部門

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023 東海北陸地区大会 (令和5年10月29日開催)

結果	備考
デザイン賞	Aチーム 全国大会出場
特別賞 (株式会社デンソー)	Bチーム

パソコン甲子園2023 (令和5年11月11日-12日開催)

結果	備考
情報システムエンジニアリング賞	モバイル部門 チーム名: スマホをぶん投げ隊

GNSS・QZSSロボットカーコンテスト

結果	備考
審査員特別賞	第16回 (令和4年10月22日開催)
敢闘賞	第17回 (令和5年10月22日開催)

高校・高専気象観測機器コンテスト

結果	備考
最優秀賞 代表理事特別賞	第11回 (令和4年12月18日開催)
最終選考会 出場	第12回 (令和5年12月16日 最終選考会開催)

高専GIRLS SDGs×Technology Contest (高専GCON)

結果	備考
高専60周年記念賞	チーム名: ezaki-lab 第1回 (令和5年1月15日開催)
本選出場	チーム名: かきつ娘 (鳥羽商船高専と豊田高専の合同チーム) 第2回 (令和6年1月24日 本選開催)

高専ワイヤレステックコンテスト (WiCON2023)

※2025年3月に表彰審査 本選大会

結果	備考
3件採択	ワイヤレス利活用部門 チーム名: izue-lab.ama チーム名: masuyama-lab.gyosen チーム名: nakakoga-lab

インターンシップ

就職活動に向けて

商船学科航海コース5年

入江 野歩

私は昨年9月5日から8日までの4日間、株式会社商船三井のインターンシップに参加してきました。

期間中は、海運について、PCCの説明、さらには360度操船シミュレーターの実験などになるプログラムでした。また、陸上勤務中の社員との座談会がありました。

インターンシップは1週間程度の短い期間ですが社員の方だけでなく、他の商船系学生との交流もでき、多くの知識を得ることが出来る機会になります。また就職活動に向けていい経験になると考えています。そのため、興味のある会社には必ずインターンシップには行った方がいいと思います。まだ興味のある会社がないという場合でも1社だけでもいいのでインターンシップに参加することをお勧めします。



インターンシップ（パナソニックインダストリー株式会社）に参加して

情報機械システム工学科4年

辻井 健斗

私は8月28日から9月1日までの5日間、電気部品や制御機器、電子材料などの電子デバイスを開発しているパナソニックインダストリー株式会社のインターンシップに参加させていただきました。数ある企業の中からパナソニックインダストリー株式会社を選んだ理由は、パナソニックインダストリー株式会社には鳥羽商船高等専門学校を卒業された先輩方が沢山働いていることと、卒業生の方から会社の雰囲気や福利厚生の方を聞き、興味を持ったからです。

実習していく中で、製品品質の重要性や制御機器の使い方や学ぶことができ、また、働く環境の雰囲気や働いている人達の優しさを感じることができました。最終日には、卒業生から様々なお話を聞くことができ、より一層働きたい気持ちが高まりました。

5日間学んだことをこれからの就職活動に活かしていきたいと思っています。

インターンシップに参加して

情報機械システム工学科4年

永井 玖愛

私は9月11日から9月15日までの5日間、PCやネットワーク機器、複合機をはじめとした幅広いシステムの導入や運用、メンテナンスを行う富士フイルムビジネスインベージョンジャパン株式会社のインターンシップに参加させていただきました。インターンシップ先に富士フイルムビジネスインベージョンジャパン株式会社を選んだ理由は2つあります。1つ目は複合機を扱う企業に興味があったこと、2つ目はCE（カスタマーエンジニア）の業務内容を知りたかったためです。

5日間のインターンシップでは、「CEについて知る」をテーマにお客様との接し方や複合機のメンテナンスを体験しました。CEはただ複合機の修理を行うだけでなく、お客様の課題を見つけ、解決へ繋がっていきます。現場で求められるコミュニケーションスキルは日常でも役立てられるものが多い、たくさんの学びがありました。この5日間の体験を通して学んだことを今後の就職活動へ活かしていきます。

各種大会実績一覧

第61回東海地区高専体育大会

競技	種目	結果	備考
陸上	男子5000m	3位	
剣道	男子個人	優勝	全国大会出場
	男子団体	準優勝	
ソフトテニス	女子ダブルス	3位	
	男子団体	3位	
水泳	女子100m平泳ぎ	優勝	全国大会出場
	女子100m背泳ぎ	準優勝	

令和5年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会（令和5年7月21日～23日開催）

結果	備考
出場	男子組演武の部 女子組演武の部

第58回全国商船高等専門学校漕艇大会（令和5年7月17日開催）

結果	備考
優勝	Aチーム
第3位	Bチーム

第26回全国高等専門学校少林寺拳法選抜大会（令和5年3月24日～26日開催）

結果	備考
出場	男子規定組演武（2組） 男子団体演武 男子規定単独演武 男子自由単独演武

2023年少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan（令和5年10月7日～8日開催）

結果	備考
出場	男子組演武 女子組演武

クラブ紹介

写真部の紹介

情報機械システム工学科3年

稲岡 陸

商船学科航海コース3年

森田 真永

写真部は、人生をシャッターチャンスに、をモットーに、カメラやプリンターなどの機材を活用し写真に触れる機会を創る活動を行っています。その活動の一環として例年、海学祭で作品展示を行っており、今年度はショッピングプラザハロー様の催事場をお借りして、初の学外展示も行いました。

また、昨年度よりプロのモデルの方に依頼をして撮影会も行っています。参加者は写真部OBの方も補助に来ていただき10名以上と盛況でした。参加した部員の多くが人物撮影の初心者である中、OBの方やモデルさんからのアドバイスをいただきつつ、各々が多様な作風の写真を撮影して楽しみました。他にも、新入生歓迎会も毎年行っています。

そんな写真部ですが、これからも積極的に活動を続け、鳥羽商船に写真部があることを知ってもらえるように頑張っていきたいと考えています。応援よろしく願います。

卓球部の紹介

情報機械システム工学科3年

中井 梨愛

卓球部は現在24名で活動しています。活動日は月水木で、放課後に第1体育館2階で練習しています。私たちは、高専大会や高体連の試合などに出場しています。卓球部は教官、コーチにとっても恵まれています。分からなかったり悩んだりした時に相談すると、分かりやすく指導してくれます。そのおかげで、自分に足りないものは何か、これからどういう練習をしていけばいいのか明確になります。ここまでを読むと少し行きにくいと感じる方もいるかもしれませんが、部員・教官と共に、楽しく笑いありで練習しています。経験者で入部する人が多いですが、入学後に始めた人でも大会で活躍しています。気になる方は是非一度、体験しに来てください！



陸上競技部活動紹介

情報機械システム工学科3年

長瀬 真生

陸上競技部は、平日4日と土曜日に活動しています。1日の活動時間は約2時間です。部員は少ないですが各々が自分の目標に向かって日々練習しています。

陸上競技は継続することが大切なので、活動日数はほかの部活よりも多いと思います。陸上競技のいいところは、練習の成果が数値で表されることがだと思います。私は入学した時、1500m4分37秒でしたが今では4分14秒までタイムが縮まりました。苦しい時間が長い競技だとは思いますが、それでも自己ベストが出た時は頑張ってきてよかったと思えます。その上、球

技系のスポーツとは違い陸上競技は誰でも試合に出ることが出来ます。これも陸上競技のいいところだと思います。今後私は、1500m4分切り、全国高専大会出場を目指して練習していきます。



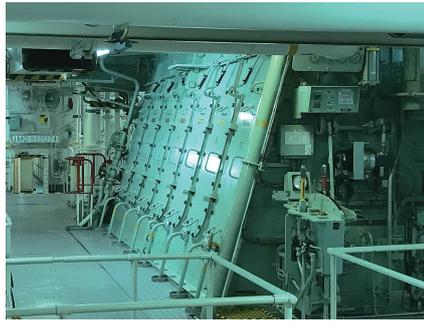
学生から機関士となる第一歩

商船学科機関コース5年

藤田 健太郎

私たち鳥羽商船5年機関コース14名は、10月1日に神戸港で銀河丸に乗船しました。練習船実習では、その年々によって乗船する商専やコースの組み合わせは異なるのですが、私たちの実習では5商専の機関コースが集まることとなりました。この実習ではもちろん一部屋につき3ないしは4人の集団生活が始まるわけですが、一年前の3年時の短期実習では出会ったことのない同級生もおり、お互いに自己紹介をしながらのスタートでした。船の中では集団生活をするにあたって班編成がされ、そこで私は8班の班長を務めることになりました。

班長の主な仕事は、人員の報告や班員への士官の連絡事項を伝える、などがあり大変でしたがやりがいのある仕事でした。さて、このまま船内生活の話ばかりしていても実習の様子が分からなくなるので、次は実習で何を行っているか書いていきたいと思います。実習で乗り込む船は大きく、船内には沢山の機械があります。したがって乗船してはじめて行うことは、どの機器がどこにあるか把握することになります。そしてどこに何があるか分かったら、構造や動かし方などを



勉強します。船が一旦出港し、機器に異常があれば機関士は自分たちで直さなければなりません。医者が体のしくみを理解して病気を治すように、機関士も機器の仕組みを理解し、もし不具合があった場合は原因を自ら修理する必要があります。私は機関士になる第一歩として、この実習で沢山のことを学び、経験を積むことができたと思います。

学生寮

学生寮について

情報機械システム工学科5年

女子寮長 杉田 千尋

本校の学生寮には全国各地から寮生が集まり、男子寮140人、女子寮29人（11月現在）が共同生活を送っています。今年度から食堂のパーティーションを撤去、1〜2年生は2人部屋、談話室で料理が可能になるなどコロナ以前の生活を徐々に取り戻しています。

学生寮は男女それぞれ寮長、副寮長、世話係、各種委員長・副委員長が寮生会を代表し、規則についての話し合いやイベントの企画などを行っています。12月にはクリスマス会、1月には5年生を送る会をオンライン開催から4年ぶりに対面で実施する予定です。寮では実家と違って縛られることが多いですが、ここで培った経験は就職活動を通じて実社会で役立つことを実感したことから、日常を大切にしています。



高専制度創設60周年を記念した植樹式に出席しました

寮行事予定

	入寮式
	新入寮生オリエンテーション
	新入寮生と在寮生との対面式
4	寮生集会（寮役員等選出）
	寮生防災訓練（火災）
	新入寮生歓迎球技大会
	新入寮生個人面談
5	寮役員校長面談
	新入寮生部屋替え
6	寮生歓迎バーベキュー大会
7	七夕行事
	閉寮式
8	寮生大掃除、S4退寮、閉寮前点検
	寮生帰省、閉寮、閉寮点検

9	寮生帰寮、開寮式
	寮生集会（寮役員等選出）
10	インフルエンザ予防接種
	寮生防災訓練（夜間・地震）
11	寮生校長面談
	寮生クリスマス会
12	大掃除、閉寮前点検、閉寮式
	寮生帰省、閉寮、閉寮点検
1	寮生帰寮、開寮式
	卒業を祝う会
2	寮生大掃除、閉寮前点検、閉寮式
	1〜4年生寮生帰省閉寮、S5寮生退寮

国際交流プログラム



Ikena Kahua に参加した

商船学科機関コース3年 山本 愛純

私は今回 Ikenakahua というプログラムに参加しました。Ikenakahua はハワイの大学と現地のカヌー団体が受け入れ先となり、ハワイの伝統航海術やカヌー建造そしてハワイの歴史や文化が学べるプログラムです。三週間の間、ホテルで共同生活をしながら大学へ通い英語、航海術、また実際海へ行って海での身の守り方を学ぶ Ocean Training を受けました。授業も一つ一つが面白くて、時間があっというまでした。また現地の学生と交流する機会もありました。ただ自分の英語力がなくあまりコミュニケーションがとれませんでした。もっと英語の勉強をしておけばよかったと後悔しました。この三週間はとても楽しく刺激的で、皆でひとつのことをする大切さ、いろんなことが学ぶことができました！



念願のハワイ

商船学科航海コース5年 永田 渚

私は8月29日から9月16日にかけて、カウアイ島でハワイの文化や伝統航海術を学ぶプログラム「Ikena Kahua」(ハワイ語で温故知新を意味する)に参加しました。本プログラムは、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年まで、オンライン上でカウアイコミュニティカレッジ(KCC)と交流を行い、渡航出来たのは、5年ぶりでした。そのため、私にとって1年生の頃からの「念願のハワイ」となりました。本プログラムは、KCCで英語の講義や伝統航海術についての講義を現地の学生と共に受講したり、キャンパスで3泊4日、伝統航海カヌーのクルー達と整備作業を行うキャンプに参加等、19日間でも多くの事を経験させていただきました。このプログラムを通して、勉強だけでなく、人生において大切なことを学び、とても大切な仲間、家族に出会うことも出来ました。ここには書ききれませんが出来ない程です。これからもこの貴重な経験をずっと大切にしていきたいと思います。



教員の活躍

論文部門優秀賞受賞について

一般教育科 准教授

深見 佳代

2022年に発表した Gender Challenges Faced by Female Physicians in Sweden: A Literature Review, 北ヨーロッパ研究 (18) 51-65 が評価され、2023年に(公社)程ヶ谷基金の第13回男女共同参画・少子化関連顕彰事業論文部門で優秀賞を得ました。論文ではスウェーデンでも医学界でジェンダーに関わる不快な職場文化が残っていることを明らかにしています。本論文は多くの医師団体からも大変注目され、日本女性外科医会、日本胸部外科女性医師の会、日本心臓血管外科学会学術総会などで招待講演を行いました。講演後に女性医師と交流する機会がありますが「目の前の霧が晴れる思いがした」などの声を多く貰います。ジェンダー研究は社会を近年大きく動かしているだけでなく、誰かの人生を直接変える巨大な力を持っています。重責と周囲からの高い期待に応えられるよう今後も精進します。

学生会活動

学生会活動について

情報機械システム工学科5年 中枳 亮太

学生会会長をしております中枳亮太です。

我々学生会は、リーダー&ピアサポータ養成トレーニングを通して他高専学生会との交流や体育祭・海学祭の運営など、幅広く活動しています。

9月30日に行われたリーダー&ピアサポータ養成トレーニングでは、本校学生会員の他、鈴鹿高専の学生会員にも参加していただきました。短い時間でしたが、コミュニケーション能力を向上させるグループワークは、他高専との交流を深める貴重な機会となりました。

6月14日に行われた体育祭では、3年ぶりに観客の応援が解禁されたこともあり、昨年導入したeスポーツを始め、盛況のうちに全ての競技を終えることができました。

12月2日と3日に行われた海学祭では、「夢限の彩り」をテーマに、初の2日間に渡る一般公開を実現できました。模擬店27店舗、ライブは20団体が参加し、さらに、2日間を通して様々なイベントを実施するなど、過去最大規模での開催となりました。また、新たな試みとして、中夜祭を実施しました。中夜祭では、海学祭に出演するダンスグループが一同に介し、ダンサー全員で、この日限りの特別なパフォーマンスを披露し、1日目の最後を壮大に締めくくりました。

限られた人員で運営する海学祭でしたが、本校学生はもちろん、学外の来場者の方にも、様々な企画を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。来年度も、学生会では様々な事に挑戦していきますので、ご期待いただければと思います。



学会発表賞を受賞して

一般教育科 教授

鈴木 聡

本年5月に第39回日本英語教育史学会全国大会において最優秀発表賞をいただきました。

発表内容は「東京高等師範学校文科第三部卒業生と東京第一臨時教員養成所英語科卒業生（大正13年、15年、昭和2年、5年、6年卒）の給費・私費別学生の進路先及び就職後の動向について」というものです。これまでの教員養成史は主として高等師範学校や師範学校といった正規の機関に関するものは豊富にあります。傍系の臨時教員養成所に関しては資料不足もあり、あまり発表されていませんでした。私はこの分野の豊富な第一次資料を手に入れることができたおかげで、様々な角度から分析・発表することができました。その成果をこのような形で認めていただいたのは幸運でした。今後はさらに精進を続けていきたいと考えています。

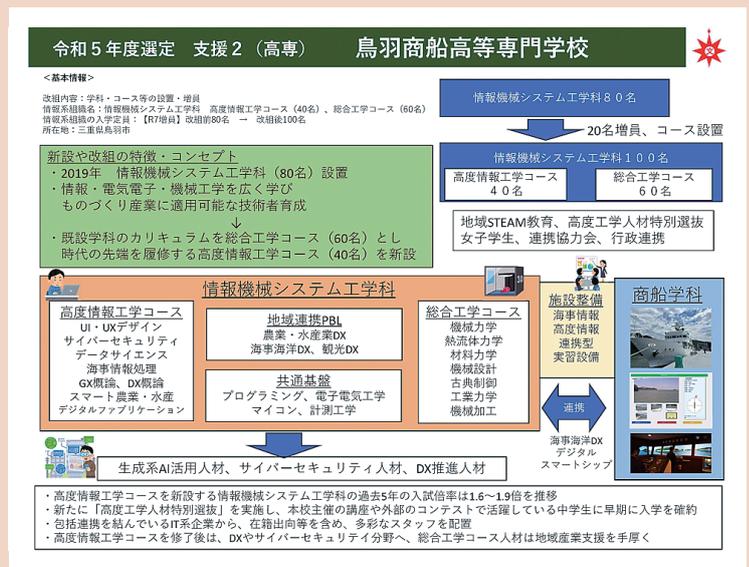
「高度情報工学コース」の新設について

令和7年4月に情報機械システム工学科は高度情報工学コースを新設する予定です。

高度情報工学コース（40名）は、高専MCC（モデルコアカリキュラム）の情報工学を主専攻とするデジタル分野に秀でた人材を育成します。

すでに入学している学生のみならずにとっても、新コースの開設は大いに影響のあることです。商船学科の皆さんも、海事DXなどのプロジェクトで一緒に勉強してもらう可能性も十分にあります。

新入生はもちろん、在校生の皆さん、卒業生、近隣の方々、教職員の皆で鳥羽商船高等専門学校的发展に一致団結して取り組んでいきましょう。なお、設置計画は現在構想中であり、内容に変更が生じる場合があります。



公開講座一覧表

公開講座一覧 サイテクラッド in 鳥羽商船高専 2023

講座名称
熱機関ポンポン船製作と練習船鳥羽丸見学
好きな色に光るLEDランプを作ろう♪
小型辞書の世界
星座で遊ぼう&レーザー加工機でものづくり
プログラミング講座イチゴジャム（初級）
プログラミング講座イチゴジャム（中級）
光るアクリルスタンド作成
ビー玉スターリングエンジンをつくろう！
lotについて学ぼう♪
船を動かしてみよう
初級映像配信講座
親子海図教室

来年も公開講座を企画予定ですので、ご興味のある方は是非ご参加ください！

R5.1～R5.12に締結した協定一覧

- 鳥羽商船高等専門学校と協同海運株式会社との包括連携に関する協定（締結日：令和5年9月7日）
 本協定は、包括的な連携・協力のもと、各々の人的・知的資源を活用しながら地域の活性化と人材の育成に寄与することを目指すものです。
 今後、両者は、本協定に基づき、具体的な活動内容の協議を行い、地域に根差した活動を連携して進めることで、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。
- 独立行政法人国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校と伊勢市との包括連携協定（締結日：令和5年9月7日）
 本協定は、包括的な連携・協力のもと、産業・教育等の分野における地域課題に対応し、地域の活性化と人材の育成に寄与することを目指すものです。
 今後、両者は、本協定に基づき、具体的な活動内容の協議を行い、地域に根差した活動を連携して進めることで、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。
- 鳥羽商船高等専門学校と株式会社ZTVとの包括連携に関する協定（締結日：令和5年10月2日）
 本協定は、包括的な連携・協力のもと、各々の人的・知的資源を活用しながら地域の活性化と人材の育成に寄与することを目指すものです。
 今後、両者は、本協定に基づき、具体的な活動内容の協議を行い、地域に根差した活動を連携して進めることで、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

編集後記

学校だより第95号を作成するにあたり、学生や教職員、そして地域の皆様方に、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

ウクライナ戦争などの不安な国際情勢がある一方で、今年は将棋の藤井八冠の偉業達成など、明るい話題もありました。将棋の駒にもそれぞれの役割があるのと同様に、学生の皆様のご活躍も、『適材適所』で力を発揮された日頃の努力の賜物であると感じます。

皆様方の今後のさらなるご活躍を祈念いたします。（杵山記）

